

第1回 大分港カーボンニュートラルポート（CNP）検討会

議事次第

日 時 : 令和4年3月25日（金）14:00～16:00

場 所 : レンブラントホテル 二豊の間

1. 開 会

2. 議 事

2-1. 大分港CNP検討会の進め方について

2-2. 国における脱炭素化の取組について

2-3. 大分港の現状について

2-4. 大分県の次世代エネルギーに関する取組について

2-5. 民間における次世代エネルギー等に関する取組について

2-6. CNP形成に向けた主な検討事項について

3. 閉 会

第1回 大分港カーボンニュートラルポート(CNP)検討会 議事概要

日時：令和4年3月25日(金) 14時00分～16時00分

場所：レンブラントホテル 二豊の間

開催形式：対面

【議事概要】

(議事2-1：大分港CNP検討会の進め方について)

事務局より、検討会の開催要綱(案)を説明し、承認いただいた。また検討会の進め方について、令和4年度3回程度開催し、大分港のあるべき姿やCNPに向けた取組について議論していくことを説明し、了承をいただいた。

(議事2-2：国における脱炭素化の取組について)

九州地方整備局別府港湾・空港整備事務所より、脱炭素化に向けた政府の動きや、港湾における脱炭素化の取組の重要性、港湾地域から排出される温室効果ガスの削減対策、令和3年12月公表のCNP形成マニュアル等について説明。

(議事2-3：大分港の現状について)

事務局より、大分港の取扱貨物量や港の地理的な状況について説明。

(議事2-4：大分県の次世代エネルギーに関する取組について)

大分県商工観光労働部より、大分県の水素に関する取組の方向性や水素関連の実証事業について説明。

(議事2-5：民間における次世代エネルギー等に関する取組について)

構成員の民間企業より、次世代エネルギーの取組事例を紹介。再生可能エネルギーの余剰電力による水素を製造する取組、船舶や荷役機械等における水素の利活用に関する取組について紹介いただいた。

<構成員>

- ・水素を再生可能エネルギーで製造し、貯蔵、使用するという取組は非常に有益。安全性の確保等の技術確立も含めて期待。
- ・カーボンニュートラルにはグリーン水素が必須。大分港にてグリーン水素の供給が実現することを強く期待。

(議事2-6：CNP形成に向けた主な検討事項について)

事務局より、CNP形成にむけた議論の方針について水素等の次世代エネルギーの受

入環境の整備や港湾地域の面的・効率的な脱炭素化の観点から検討を行うこと説明。また、構成員等に対してアンケート調査を実施し現状のCO₂排出量の推計や将来の水素の需要量の調査を行い、次世代エネルギーの受入に必要な施設規模や配置等について検討を行うことを説明。

<構成員>

- ・CNP形成の方針として港湾地域の面的・効率的な脱炭素化とあるが具体的にどのようなことを考えているのか。

<事務局>

- ・港湾地域の面的・効率的な脱炭素化について公共ターミナルにおいては脱炭素化に向けた取組を進めていき、港湾地域全体としては民間企業の意見聞き、次世代エネルギーである水素の輸送や利用などの各企業の取組を点でなく面的な取組として広げていくことができると考えている。